

(公財)川崎市
国際交流協会の

講師 INSTRUCTOR 紹介



中国語による
国際理解講座

ようざいせい
楊 材菁先生

三国志の時代の裏と表を紹介します。

「中国語による国際理解講座」(全3回)の初回(10月17日)を担当することになりました。中国・上海出身の楊材菁(ようざいせい)です。私は、マンチェスター大学大学院(イギリス)で企業コンプライアンス管理を勉強し、卒業後、村田製作所上海支社に就職しました。主人とともに来日して初めて住んだのは九州でしたが、2013年に川崎に転居してきました。趣味は、アニメ・コミック・ゲーム。映画鑑賞も好きなので、映画館まで電車で15分で行ける今の生活は大満足です。

今回の講義「三国志の世界」では、三国時代の裏側を紹介します。「三国志演義」を簡単に説明した後、現代三国文学と戯曲の話に入ります。文学と歴史の矛盾に注目しながら、それぞれの登場人物の真の顔を紹介できたらと思っています。「天下の悪人」と「稀代の英雄」という矛盾した評価を受けた人物、はたしてどちらが真実なのか? たった1日で54人の武将を破ったといわれる武勇伝は、どのような作品なのか? また、一生で17人しか討ち取らなかったという、有名な武将とは誰なのか? 答えは「三国志の世界」で!!

(文・写真提供:楊材菁さん)

「中国語による国際理解講座」土曜日午前10時~正午 各回820円(3回セット2,050円)
第2回 10月24日「東北の家庭料理」江口智子先生・北澤艶子先生(材料費別途1,000円)
第3回 10月31日「未定」朱文清先生(台湾文化センター長)

2015インターナショナル・ フェスティバル in カワサキ

多文化
交差点

22
[たぶんかこうさてん]

夏の恒例イベント「インターナショナル・フェスティバル inカワサキ」が7月5日(日)、川崎市国際交流センターで開催されました。当日はイベントが始まって以来初めての雨に降られましたが、例年同様多くの方が来場され、梅雨空を押し返す勢いで1日中盛り上がりました。

午前10時、フェスティバル開始のアナウンスとともに、料理・音楽舞踊・物産・展示・体験イベントなどがいっせいに始まりました。今年は特別に、台湾の中学生60名による民族楽器の演奏や、キルギス共和国の小中学生による歌と踊りの披露があり、来場者からも大好評でした。開会式にはASEAN諸国からの来賓も増え、新しい交流が始まりました。展示コーナーでは、担



スタンプラリー・チェックポイントをまわる子どもたち



子どものための「ミニポルトガル語講座」



迫力満点、技術も高い台湾の民族楽器演奏



珍しいタンザニア料理



美しい民族衣装と踊りで場を魅了したキルギスの小中学生

当者から直接話を聞くことができ、パネルの中の話がより具体的に伝わり、とてもよい刺激を受けました。

屋外のバラソルやテントの下で、さまざまな国の料理を楽しんだり、ホールや特設ステージで美しく鮮やかな伝統服や音楽が作り出す舞台に目を奪われたりしました。また、「展示」や「紹介」「体験」を通して、フェスティバルに参加したみんなが言葉や文化を乗り越えたものを感じ、まさしく五感で世界を知り、楽しむことができた1日でした。

(文:編集ボランティア 御鍵幸祐)

(写真:撮影ボランティア 小島俊彦、安田芳郎 ほか)

「2015インターナショナル・フェスティバル in カワサキ」

- 開催:21回目
- 参加国・文化:34の国と地域
- 今年度の入場者数:13,000人
- 協力ボランティア:120人
- 参加団体・コーナー:132団体